

ひろば大代

NO.338

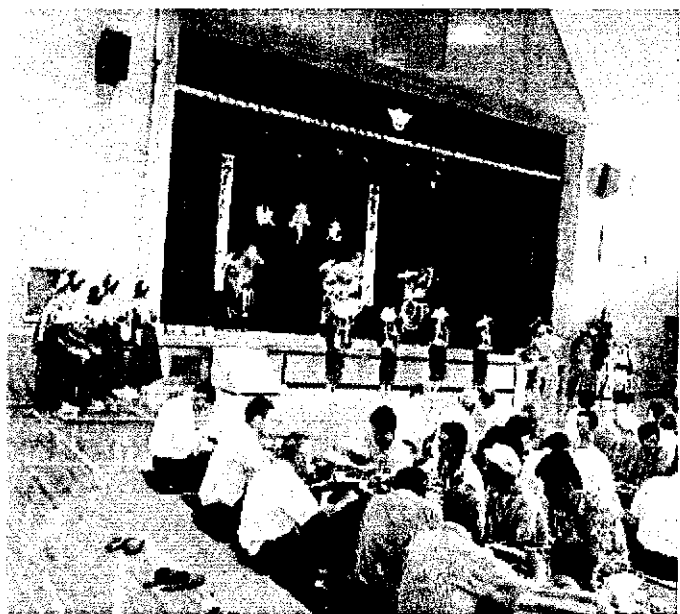
大代公民館

H19.9.23

祝敬老の日

おめでとうございます。

十六日、大代町敬老会が小学校体育館にて開催され、幼稚園児・小学生・中学生などによる踊りや合奏など地域ぐるみで長寿をお祝い致しました。皆様いつまでもお元気でお過ごし下さい。



米寿を迎えて

右原 渡利ノブ

大代の土地で暮らして五十二年の月日が流れた様です。

大代の良さも住んでだんだんわかってきました。東京、大阪と高山会、ひろば大代も楽しんで読んでいます。

八十の坂を登り出したんだん気力体力も衰えにきました。でも日誌は永年続けて書いています。ふと何気なく日誌を目にした十六年印度洋マグネチュード八・九が九・一に変りプーゲル島地震ニュース大津波に巻き込まれ死者十四万人、痛々しい地震。日本でも二十三号台風中国地方総なめ、京都舞鶴ではバスの上で助けを求めぬニュース。新潟地震等々大変な世界的大被害があった年でした。幸いに私は大代の不便



な土地で暮らしていますが余り地震のおそろしさは味わっていません。有難い事です。

今年の夏は世界的猛暑が続きました。十八年暮れに鳥井の双葉園に行つて三ヶ月滞在して四月一日に帰り、一生懸命草取りし、里芋を五、六十個植付をしました。雨量がなく毎日水やりなど大変な目にありました。

一年一年と進む老化、皆様のお世話になり、さくらんぼ教室へも月一回高村さんの送迎でお世話になっています。又公民館ではボランティアの皆様を支えられて楽しく時間を過ごし本当に皆様のお陰で一日が終るようです。後の毎日一人暮らしです。読み書きに更けたりすると目が疲れます。今日は永年引いてない大正琴を出して時間を過ごしました。

公民館の近くに住んでいらつしやる皆様はランドゴルフをして楽しみが出来て幸せと思います。私は不便な土地柄仲間に入ることは出来ません。三輪車に乗る様になつてからは足が弱り思い通りにいかない世の中ですね。

敬老を迎えての私のメッセージです。

喜寿を迎えて

「喜寿万才！」

本郷 日向 良



『喜寿』 喜の字の祝。 ところで喜の字を草書体で書けば『垚』となる。つまり七十七才で一つの区切りとして祝賀されるようになったと思われる。しかしながら小生の人生にも険しい山があり深い谷もありました。つまり喜びや辛苦の味わいを満喫しながら今日を迎える事となり、感慨深い想いでいっぱいです。

昔秦（今の中国）の始皇帝は『不老不死』の薬を求めて日本に使いをよこしたといわれ、それ程までして生に対する執着心が強かったものかと想像が

つきます。

幸いにも息子一家に暖かい家庭に恵まれ、これからも一日一日と自分を大事にしながらかりの人生を、ゆとりとゆるおいをもつてあせらず歩きたいと思えます。

喜寿を迎えて

上市 岡 艶子



今年の夏は記録的な暑さで、尚きびしい残暑が続いています。朝夕は少ししのぎやすくなった様に思われます。虫の声も聞こえてきます。

思えば私が小学一年生の時、日支事変、五年生の十二月に大東亜戦争勃発となり、高学年は荒地を耕して、さつま芋の苗の植付け、収穫等々色々ありました。

時には馴れない鎌で指を切り大騒ぎをして笑われた記憶もあります。

多くの出征兵士を送りました。どうか無事に帰還される事を願いながら、「欲しがりません。勝つ迄は…」皆、

勝利を信じて頑張りました。

私は一週間の違いで昭和二十年八月六日の被爆を免れました。

あれから六十二年お陰様で大過なく喜寿を迎える事が出来、有難く感謝しております。

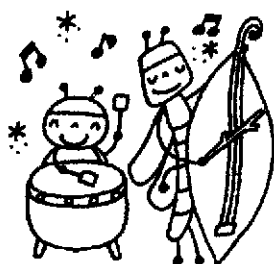
とかく暗い話題が多く心の痛むこの頃ですが、皆が安心して暮らせる社会であつて欲しいものです。

一病息災、前向きに頑張りたいと思っております。どうか穏やかな収穫の秋でありますよう願っております。

お世話頂きました皆様有難う御座いました。

喜寿を迎えて想うこと

上飯谷 武田 節代



「喜」を草書体で記すと「七十七」、そこでこの齢を喜寿と呼び慣わすそうです。昔など「よくぞこの歳まで」と

文字通りの喜びを持って迎えたに相違ありません。私の場合「喜」かどうかはさておき、周囲の皆様のおかげでここまで生き長らえることが出来た「感謝」の念とともに七十七才を迎えます。

私は昭和5年10月27日、温泉津・飯原の福光川の畔で生を受けました。

実家は昔から養蚕を営んでおり、私も幼い頃から桑の葉を運んだりマユ玉を煮たりと手伝いをしたものです。

時局が悪化してからは養蚕どころではなくなり、学徒動員で工場に毎日かり出され、あつという間に終戦を迎えました。

縁あって大代町に嫁いだのは昭和27年の秋のこと。慣れないトラックで嫁入り道具と共に揺られ、祝言から1週間ほど車酔いで寝込んだことが今は懐かしく思い出されます。

思えば半世紀以上をここ大代で生きたことになりました。大江高山を遙かに見上げながら日々田畑を耕し、夫との“二人三脚”で2人の息子を育てました。格別の感慨はなくとも、揺れる稲穂に「来年もまた」と、生きて生かされる「喜」を感じる今日このごろです。

耐用期限のオマケのお陰

八反田 林 正士



まず最初にこの度、敬老会に喜寿のお祝いをいただき、有難うございました。またお世話いただきました社協の会長さん始め、役員の方々にも厚くお礼申し上げます。

最近では人生50年と言う言葉は聞かなくなりりましたが、人間の節目になる事には変わらぬと思う。45才を過ぎると体に不都合が生じて、新聞も老眼鏡なしでは見られず、50才過ぎると歯、腰痛などのほか頭の回転も悪くなり耐用期限切れになり60才で定年になる。体の大部分はとりあえず50年間はまともに動くように作られているが、

口惜しくとも耐用期限切れを過ぎた現在では耐用期限のオマケであることは事実である。オマケの時代を有意義に元気に長生きというのが目標だろう。

人は一日ずつ老いるので、突然ある時老化が発病するわけではないので、出来るだけ体調を整えて維持する生活をしたものだ。

私はまだオマケの元気のあるうちに、又仕事をしたが、70才代になると体調がついていかず、73才でダウンしてしまった。体調を維持するつもりが、このぎまだ。

近くの友達が来るたび、「体の調子はどうだ。わしより先に死ぬなよ。」とお互いに言い合っている。私が体調をくずしたのも70才代のオマケを大事にしなかったせいと思う。病院にも行かず、血圧が200有っても気にせずの毎日。こうなるのも当然の事だろう。

オマケも何日も続かない。耐用期限をとづくに過ぎ去った今はオマケのお陰で有る事を忘れない様に。

人間は生まれたらいつかは最後のその日が来るのは間違いない。50才が境目。そのことから目をそらす

事無く、人生のプランを構築する必要
がある・・・と遅まきながら思う。

都市とふるさとを結ぶ交流会と

県知事表彰！

Ⅱ 一に感謝、二に感謝、

三四も感謝、五も感謝 Ⅱ

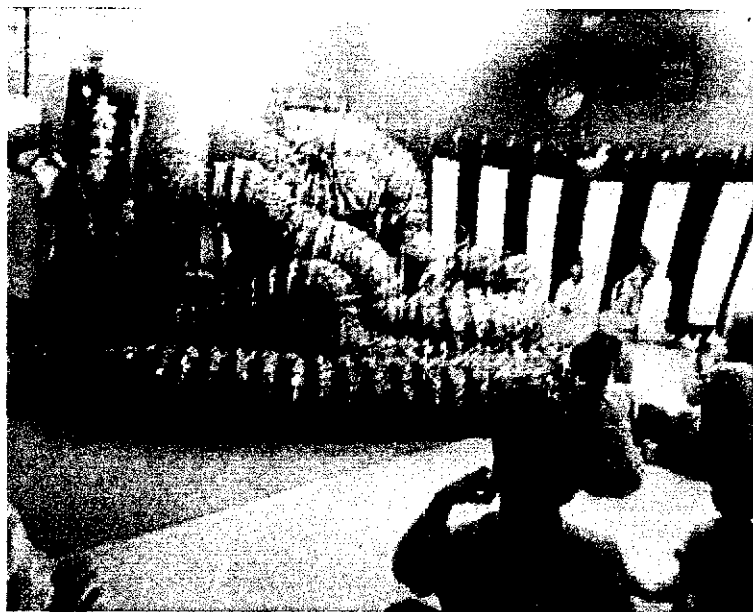
大代高山会会長 木村幸司

田んぼの稲穂もたわわに実り、秋の
収穫を迎える頃となりました。年々、
月日がたつのが早く感じる昨今です。

さて、先月の「都市とふるさとを結
ぶ交流会」では、多数の皆さんにご参
加・ご協力をいただき、盛会に開催す
ることが出来ました。会員皆様のおか
げと感謝申し上げます。

地元の皆様にも近くにある世界遺産
について、今一度ご認識いただこうと、
大田市の石見銀山課に、駄目元で「大
久保間歩を見学させていただきたい」
旨の打診をしたところ、長年続してい
る「都市とふるさとを結ぶ交流会」は
もとより、大代高山会の活動に対し、
大変な評価をいただき、大久保間歩見

学会を開催することが出来ました。会
の継続にご尽力いただいた先人の労苦
と、普段より活動に対しご協力いただ
いている会員の皆様のお陰で開催でき
たものと感謝いたしております。
今回参加できなかった皆様も、いず
れ機会を設けて壮大な歴史ロマンにふ
れていただきたいと思えます。・・・
で、都市交流についてまだまだ書きた
いところがございますが、大変に長く
なっております。紙面の都合もあり、



この辺にさせていただくといたしまし
て、実は、先月終わりに、溝口島根県
知事にお会いしてきました。

連合自治会でもご報告いたしました
が、平成16年に続き、今回はハートフ
ルロードにおける県道保全の協力に対
し、県知事表彰をいただきました。会
員皆様のご協力の賜物と、重ね重ね感
謝いたす次第であります。当然のこと
ながら、祖式―大代間の道路改良につ
きましてもお願いしてまいりましたの
で、ご報告いたします。

残念ながら、紙面の都合ですべてを
お伝えすることが叶いませませんが、会員
皆様には感謝することはいっぱいです。
今後とも、引き続き皆さんで知恵を
出し合って、元気な大代町でありたい
と願っております。意の伝わりきらな
い文書となっております申し訳ございま
せん。今後ともよろしくお願い致しま
す。

追伸 石見銀山の講演を快くお引き
受けいただきました、大國教育部長様
に心より感謝申し上げます。

都市とふるさとを

結ぶ交流会に参加して

東京石見高山会会長 今田 潔

毎年私が参加する年中行事の中で最先で予約表に入れ、楽しみにしている“都市とふるさとを結ぶ交流会”に今年も参加する事が出来、お元気な大代町の皆様との交流を深める事が出来本来に嬉しく思っています。

今年は事前の予想を覆しての“石見銀山世界遺産登録”と言う大慶事の一環として木村議員のお骨折りで一般公開前の“大久保間歩”の見学と、当初から登録に向ってご苦労され銀山について最も詳しい大田市・大國部長の講演会を計画・実施して頂き本当に有難う御座いました。

龍源寺間歩より遥かに規模の大きい大久保間歩は感動ものでした。

貝殻の灯明を頼りに空気が乏しく粉塵、湿気の多い坑内で薄い銀鉸脈を辿って深く掘り進んだ往時の状況を髣髴させ身震いしました。(坑内が14℃という涼しさのせいだけではありません)続

いて開催された交流会の本番、私の大好きな恒例の神楽、皆さんと楽しく踊った盆踊り、今年もまた夏の大きな思い出を作る事が出来ました。大代町の皆様に心から感謝し厚くお礼申し上げます。

最後にお願ひですが、来る11月11日(日)東京石見高山会を開催しますので故郷大代からも出来るだけ多くの方にご参加いただきたくお願ひ申し上げます。

交流会に参加して

関西高山会会長 木村滋男



今年も8月14日に開催された都市とふるさとを結ぶ交流会に参加させていただきました。今年には私達夫婦と長男の家族4人、計6人の大家族で帰省し、実家でお世話になりました。

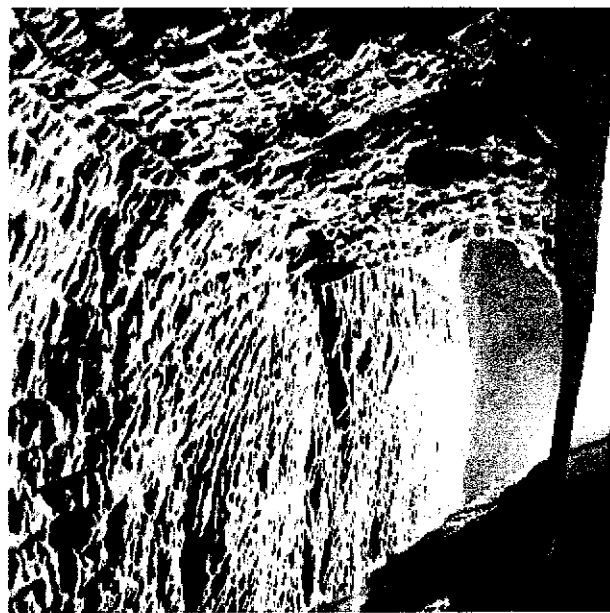
13日に帰り、まずは今年95歳になる母の元氣そうな姿を見て、一安心。母の「体に気を付けんさいよ。私より先に死にんさんなよ」の言葉が身にしみました。

14日は今年世界遺産に登録された

石見銀山の久保間歩の見学イベントに参加しました。肥満型でお腹の出たきた私は、坂道は苦手なので参加するのに不安でしたが、甥の幸司君の「そんなに厳しい坂道ではない」という言葉を信じて参加したのですが、バスで到着してから久保間歩の入口までの坂道は私には大変厳しく、道中、下市の森守さんに最後まで付き合っていただき、やつと間歩の入口までたどり着く事が出来ました。森さん本当に有難うございました。

大久保間歩は以前に見学した龍源寺間歩より規模も大きく坑道の中は大変涼しく迫力もあり、素晴らしい景観でした。参加して本当に良かったと思います。

夜の盆踊り大会にも参加させていだきました。盆踊りが大変好きだった父を思い出しながら楽しく踊らせていただきました。昨年、今年と段々盛大になってきたように思います。この交流会を企画して頂きました皆様有難うございました。来年の交流会を楽しみにしています。



間歩

「夏の日」

柿田 横手昌則

灼けつくほど乾いた砂利道を、汗をぬぐいながらザクザクと登って行く。途中の資材置場で長靴に履きかえ、ヘルメットと懐中電灯を借りる。

更に百米ばかりの岩の道を登って行く。と目的地の大久保間歩に着いた。坑道の入口に向かって、中から冷たい空気が吹き出している。「ウアーツ」と皆の喚声があがる。外気温は三十度だがここの入口では十八度、案内され坑

道に入ると中の気温は十二度だった。明治期になっての機械掘りの跡が遺るものの殆どが人の手によって掘られたそう。ぽっかりと開いたホールの様な場所に出ると啞然としてしまう。それにも増して凄いののはビル三、四階分の高さと思われる縦坑だ。

鉱脈に沿って掘り進んだのだろうか、先は何処に通じているのか、懐中電灯の光が届かない。見学者のフラッシュの閃光に驚いたコウモリが慌てて暗闇に逃げこむ。

人の手で一日にどれだけ掘り進んだのだろうか、建設機械という文明の利器に慣れ、鈍った私の体では三日と持たないだろう。

見学を終え間歩の入口に戻る時、奥の方でキーンとノミを叩く槌音がした。ような気がした。

俳句

あすなる句会

大田 原田万里

夜明け前朝顔すでに花開く



荒畑のコスモス小さく咲きにけり

下市 渡あやこ

一輪の花を挿し終へ夜の長し

草虱背戸に出る度二つ三つ

柿田 横手いちえ

コスモスの倒れしままに咲き続く

戯むれる子猫相手に夜長かな

八反田 森 信子

長き夜寝返へりの数多きこと

秋雨にドミノ倒しの田の面かな

椿 花田時子

招かれてい草の匂ふ夏座敷

朝雲牛の名呼んで手をたたく

下市 今田文子

コスモスを眺めつ今日の畑仕事

幼等の写真広げて夜の長し

川上 岩田律枝

町民の集ひて祝ふ敬老会

足病みて頑張る孫や秋来る

本郷 和田喜和子

稲刈を終へて安堵の昼寝かな

コスモスを一握り切り佛前に

椿 柿丸寿枝

鯉一つ立て掛けてあり虫の宿

虫の声今が仕合せ仕舞風呂

火事見舞いのお礼

本郷 松井土幸・ユエ

この度は、私共の不注意から火災になりました際には消防団の方をはじめ、皆様に大変なご迷惑をお掛けしましたことを心からお詫びいたします。

又この折、大代町自治会の皆様や多くの方から励ましとお見舞までいただき感謝いたしております。お陰で焼跡の片付けも一段落いたしました。

本日は広報「ひろば」の紙面をお借りして、皆様にお詫びとお礼のご挨拶をさせていただきます。有難うございました。

秋の全国交通安全運動

9/21～9/30まで
スピードの出し過ぎなど
気をつけて運転しましょう。



町民運動会のお知らせ

10月7日(日)に第57回町民運動会を行ないます。

今年は、5色から4色に組分けの変更をしました。

赤色―飯谷・弓久
白色―山田・本郷・右原
黄色―川上・柿田・椿
 上市・四日市
水色―植松・下市・下谷・八反田

4色対抗で競技します。
内容も工夫しておりますので、ぜひご参加下さい。



10月行事予定

- * * * * *
 - * * * * *
 - * * * * *
 - * * * * *
 - * * * * *
 - ▼ 1日(月) 社協ボランティア会議
 - ▼ 7日(日) 大代町民運動会
 - ▼ 14日(日) 大江高山登山道草刈
 - ▼ 14日(日) よっちゃん菜「収穫祭」
 - ▼ 14日(日) 福祉弁当
 - ▼ 16日(火) さくらんぼ教室
 - ▼ 23日(火) 連合自治会
 - ▼ 27日(土) 男の料理教室
- 公民館にて9時30分から

編集後記

稲刈が一段落ついて、ほっとしておられることでしょう。

「天高く馬肥ゆる秋」

過ごし易い季節となりました。夏バテもなく、ますます旺盛な食欲に負けないように、運動もしなければ・・・。

“柿喰えば、芋も喰いたし”

栗も喰いたし“

秋の味覚は魅力と危険で一杯です。

(W)